

平成30年度 港区区政運営に関する区政会議委員評価（集計）

別紙2-3

区政会議委員（令和元年9月までの任期の方々）48名中、19名から提出いただきました

【評価】 4…思う 3…やや思う 2…あまり思わない 1…思わない
 ※平均点は、「4思う」を4点、「3やや思う」を3点、「2あまり思わない」を2点、「1思わない」を1点として、各委員の評価を平均しています。

1. 各経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

【経営課題1】 区民主体のまちづくり

めざすべき将来像	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
地域の課題や実情を最もよく知っている住民等が中心となり、多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)による活力ある地域社会が実現されている。	1	16	2	0	2.95	3.07

【経営課題2】 安全・安心・快適なまちづくり

めざすべき将来像	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
大規模災害への備えが万全であるとともに、犯罪が発生しにくく、うるおいのある安全で快適なまちになっている。	2	13	4	0	2.89	3.05

【経営課題3】 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

めざすべき将来像	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
地域では支えあいの活動が活発に行われており、高齢者、障がい者、子育て層など支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるまちになっている 区民の健康寿命が延び、一人ひとりが健やかにいきいきと暮らせるまちになっている	3	14	2	0	3.05	2.99

【経営課題4】 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづく

めざすべき将来像	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
子どもを育てる環境や子どもが学ぶ環境が整備され、「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちになっている	6	11	2	0	3.21	2.89

【経営課題5】 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

めざすべき将来像	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
港区を訪れる人が増え、まちがにぎわい、地域経済が活発化している。	3	9	7	0	2.79	2.81

【経営課題6】 区民意見を反映した区政運営

めざすべき将来像	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
多様な区民の意見・ニーズを的確に把握し、区政運営に反映するなど区内の実情や特性に即した自律した自治体型の区政運営が行われている。	3	11	4	1	2.84	2.94

2. 上記のような港区の経営課題は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

区の目標（何をめざすのか）	評価：人数				今回の平均点	前回の平均点
	4	3	2	1		
いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区の実現	5	12	2	0	3.16	3.07

3. 評価理由やお気づきの点等あれば自由にご記入してください。

ご意見等（一部抜粋）
「子どもの学び」「子育て世代」を応援するまち港区は自信できると思います。災害への取組には少し不安があります。43号線の横断、早く解決してほしいと思います。
全体的に見て区長他区役所の皆さんの頑張りが伺えます。書類の多いのが恐縮します。一つ一つ一生懸命取り組んでおられるのがわかります。
外国人が増えているように思います。国によって尺度が違うので勘違いが発生、お互いに教えあって人口が増えたらいいなあと思います。市商跡地は行政資産のまま府大と市大との合併になればいいなあと思います。民間ならば外資ではなく日本の企業へ。一時的な金額ではなく地元優先で。
交通網の利便性が良い。
区役所職員の皆さんの区民への対応、特に1Fの受付等は非常に良くなったと言う多くの区民の声を聞きます。区内各種団体に所属している役員の方は、団体を通じて意見・提案も出来ますが、一般区民の方は意見・提案等は改善箱等を通して吸い上げる必要があります、改善箱や意見書は提案と処理・結果を啓発活動や広報紙等でどんどん一般の区民にわかるよう発表する必要があると思います。
区の目標に向けて様々な団体、人々の交流がかなり活発に風通しが良くなってきているように思います。更なる実現に向けて微力ながら楽しんで様々な活動をしていければと思います。
専門会議の委員は行政側であり、わかりきったことを議論していると思う。市民側の参加人数を増やした方が良い。自分達の活動がどう市民に理解され、評価されているのか現実を知る場になった方が良い。
経営課題3において、様々な取組を展開されていてとても心強く思います。その中で「障がい者」の生活の幅を広げる、「障がい者」が安心して生活できるような取組について、委員の1人として今後も考え、検討し、具体的な取組に活かしていきたいと思います。
各部会において課題がたくさんあり、部会でスピーディに説明を受け、部会とはこのようなものかと少しがっかりしました。書類を読みましてもなかなか頭に残りませんでした。積極的な発言を導くため、議長は個人指名をしてほしい。
築港地区のにぎわいづくりについて、大型クルーザーの天保山岸壁への寄港が増えていますが、乗客の皆さんが築港界隈を歩く姿は多くなったとは言えません。提案ですが、大型クルーザーの寄港に合わせて学生ボランティアの通訳を募り、天保山公園、港住吉神社、築港高野山等を巡る無料の超ミニガイド付きツアーを開いてはどうでしょうか。
取組として良いと思いますが、更なる充実（例えば質や量）が常に必要だと感じています。

取組に対する評価を求められることに異論はありませんが、今一步踏み込んでいただいて、区役所として行った取組が、実際にどのように経営課題に対する効果を生んだのかまで自己分析していただく必要があるのではないかと考えます。いろいろ取り組んだことが、実際どのように効果を生み、例えば区民などからどのように反応が見られていたのかを聞くことで、区役所の日々の活動がより良い港区づくりに繋がっているのかがわかりやすくなるように思います。区域外から人を呼び込む仕掛けと並行しながら、社会的弱者にとって暮らしやすい街づくりが進んでいく事を期待します。そのためには、必要な情報を必要な時に獲得することができる環境と、困ったときに相談できる人・場所・所があることだと思います。既存の社会資源をさらに活用したり、周知を図り、困りごとがある方が困り感や不安感を解消することができるように、また、相談がたらい回しになり、相談者が置き去りににならないように十分に配慮して、社会的弱者を支えられるように、新しい生活困窮者自立支援事業等の制度なども活用して、官民が一体的に暮らしやすい港区づくりで共働できるように、今後も区政を先導していただきたいと思います。